

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：齊藤 親

事業名	むそたてひら 六十谷手平線	事業区分	街路	事業主体	和歌山市										
起終点	自：和歌山県和歌山市中之島字天皇 至：和歌山県和歌山市中之島字貝柄	延長	0.2 km												
事業概要：都市計画道路六十谷手平線は、市内中心部を南北に結ぶ幹線道路として位置付けられ、市内の交通配分を図る重要な路線で、国道24号からJR紀勢線までの延長220mを事業化しており、JR紀勢線との立体交差は、国道26号（和歌山北バイパス）と併せ、鉄道を高架するものである。															
H元年度事業化	S40年度都市計画決定 （S63年度変更）	H元年度用地着手	H9年度工事着手												
全体事業費	49億円	事業進捗率	49.6%	供用済延長	0.20 km										
計画交通量	26,000台/日														
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 3.9	総費用 (事業全体) 52億円 （事業費：52億円 維持管理費：0億円）	総便益 (事業全体) 204億円 （走行時間短縮便益：199億円 走行費用減少便益：7億円 交通事故減少便益：-2億円）	基準年	平成15年										
事業の効果等 ・都市の再生（中心市街地内で行う事業） ・他のプロジェクトとの関係（関連する大規模道路） 他8項目に該当															
関係する地方公共団体等の意見 国道26号（和歌山北バイパス）も平面交差で暫定供用されており、鉄道高架工事により早期に踏切除却される事が望まれている。															
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 国道26号（和歌山北バイパス）暫定供用済み。（平成15年4月）															
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成14年度末時点での進捗状況は49.6%で当路線は、既に暫定供用され、残事業としましては、鉄道高架工事及び当路線の踏切除去部分の道路工事となっている。															
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 高架化工事の鉄道事業者との費用負担等の調整に時間を要し、高架工事協定が遅れたが、残事業は高架化工事となっております。															
施設の構造や工法の変更等 道路を跨ぐ高架橋の変更（プレキャスト桁 下路桁）等によりコスト縮減を図っている。															
対応方針	事業継続														
対応方針決定の理由	鉄道高架工事を残し順調に進捗しており、事業の必要性・重要性は変わらないと考える。														
事業概要図 <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><td>計画交通量</td><td>2,6000台/日</td></tr> <tr><td>想定所要時間</td><td>30秒</td></tr> <tr><td>整備しない場合</td><td>54秒</td></tr> </table> <table border="1" style="margin-right: 20px;"> <tr><td>供用済み</td><td>■■■■■■■■■■</td></tr> <tr><td>事業中</td><td>■■■■■■■■■■</td></tr> </table> </div>						計画交通量	2,6000台/日	想定所要時間	30秒	整備しない場合	54秒	供用済み	■■■■■■■■■■	事業中	■■■■■■■■■■
計画交通量	2,6000台/日														
想定所要時間	30秒														
整備しない場合	54秒														
供用済み	■■■■■■■■■■														
事業中	■■■■■■■■■■														

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。